

保護者・ご家族の皆様へ

新年明けましておめでとうございます。

昨年もコロナに悩まされながらの教育活動の展開となりましたが、皆様のご理解と多大なるご協力のおかげで新しい年を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

各小中学校におきましては、コロナ禍の中でも、教職員が一丸となり、子供たち一人一人に心を配り、感染症対策を十分に行ったことで、クラスターを発生させることなく、様々な教育活動に取り組むことができました。また、今年度からタブレットやICT機器を使った授業もかなり定着してきており、子供たちからは「授業が楽しい」「友達の考えがよくわかる」「もっとタブレットを使った勉強がしたい」といった声が多数寄せられています。教育委員会としては、ICT支援員を配置し、研修を深めるとともに、学校が取り組んでいる中から「好事例集」としてまとめ、さらによりよい活用を目指して指導に生かしてまいります。

今年度は中総体が実施でき、それぞれの会場で熱戦が繰り広げられました。真剣な戦いから、ガッツポーズが見られたり、悔し涙を流したり、人生の大きな糧となったことと思います。県大会を勝ち抜き、例年より多くの生徒が東北大会、全国大会に出場しました。子供たちもよくがんばりました。子供たちを支えていただいた皆様に関心から感謝申し上げます。

また、コロナ対策を取った中ではありましたが、各種発表や学校行事も行われ、緊張感がある中でも、役割をしっかりと果たし、努力のあとがうかがえました。みんなとともにやりきった充実感は、さぞ、大きかったことと思います。さらに、地域の清掃活動や高齢者への「ことばのギフトカード」をプレゼントするなどの取組も行われ、社会や地域との関わりの中で自己有用感を得るとともに、社会貢献のすばらしさを見出したことと思います。

子供たちはそれぞれ個性や特性を持っています。そしてそれぞれ学び合い、支え合い、磨き合いながら光り輝こうとしています。子供たちは学校だけでなく、家庭・地域が一体となって行われてこそ大きく輝きます。現在、全国的に「スマホ依存」が増加しており、夜遅くまでLINEが続いたり、ゲームに夢中になったりする傾向にあります。「夜眠れず授業に集中できない」「精神的に不安になる」など弊害が指摘されております。「早寝、早起き、朝ごはん」のキャッチフレーズのもと、家族間でも話し合い、ルールを作るなどご配慮願います。何か気になることがあれば、いつでも学校や教育委員会、子どもの心のケアハウスにご相談ください。

感染拡大の状況によっては、再び急な変更や臨時休業等の措置を取らざるを得ないこともあるかもしれません。そのようなことになっても教育委員会として、子供の学びの保障、心のケア等に全力で取り組んでまいりますので、今後ご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

令和4年1月11日

教育長 熊野 充利